【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成30年2月22日(2018.2.22)

【公開番号】特開2017-205388(P2017-205388A)
【公開日】平成29年11月24日(2017.11.24)
【年通号数】公開・登録公報2017-045
【出願番号】特願2016-101161(P2016-101161)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　7/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　7/02　３２０

【手続補正書】
【提出日】平成29年12月28日(2017.12.28)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
変動表示の表示結果が特定表示結果となったときに遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、
未だ開始されていない変動表示について保留情報を記憶する保留記憶手段と、
前記保留情報に対応する対応表示を行なう対応表示手段と、
前記対応表示の態様を変化させる変化演出を実行する変化演出実行手段とを備え、
前記変化演出実行手段が複数の対応表示のうちの特定の対応表示の態様を変化させる変化演出を実行するときに、当該特定の対応表示以外の対応表示の少なくとも一部を隠ぺいし、
前記特定の対応表示以外の対応表示の少なくとも一部を隠ぺいする演出は、複数種類設けられている、遊技機。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
（１）　変動表示（可変表示等）の表示結果が特定表示結果（大当り表示結果等）となったときに遊技者にとって有利な有利状態（大当り遊技状態等）に制御可能な遊技機（パチンコ遊技機１等）であって、
未だ開始されていない変動表示について保留情報を記憶する保留記憶手段（図８の第１，２保留記憶バッファ等）と、
前記保留情報に対応する対応表示（保留表示等）を行なう対応表示手段（演出制御用マイクロコンピュータ１００、演出表示装置９における合算保留記憶表示部１８ｃ等）と、
前記対応表示の態様を変化させる変化演出を実行する変化演出実行手段（演出制御用マイクロコンピュータ１００、図１９の先読み予告処理のＳ５２４～Ｓ５３１に示すように、変化演出が実行されるときの演出態様の内容を決定する、図２１のＳ７２０～Ｓ７２２に示すように、先読み予告処理で決定された内容を実行するように設定する等）とを備え、　前記変化演出実行手段が複数の対応表示のうちの特定の対応表示（ターゲットの保留

表示等）の態様を変化させる変化演出を実行するときに、当該特定の対応表示以外の対応表示の少なくとも一部を隠ぺいし（演出制御用マイクロコンピュータ１００、図１６（ｂ），（ｃ）に示すように、変化演出を実行するときにターゲットの保留表示以外の保留表示を大矢印８１により隠ぺいする等）、

前記特定の対応表示以外の対応表示の少なくとも一部を隠ぺいする演出は、複数種類設けられている（図１８の青大矢印、赤大矢印、役物による隠ぺい演出等）。